

伊達シルバー会報



# ふれあい

No.135

2017.10.1 発行  
(平成29年)

☆ 自主・自立、共働・共助 ☆



「ふれあい祭り」会場全景

## 地区別会員情報

平成29年9月12日現在

| 地区        | 男  | 女  | 計  | 地区        | 男   | 女  | 計   |
|-----------|----|----|----|-----------|-----|----|-----|
| 第1地区(黄金)  | 17 | 2  | 19 | 第8地区(末永)  | 18  | 11 | 29  |
| 第2地区(稀府)  | 13 | 13 | 26 | 第9地区(山下)  | 21  | 10 | 31  |
| 第3地区(舟岡A) | 13 | 7  | 20 | 第10地区(西浜) | 10  | 5  | 15  |
| 第4地区(舟岡B) | 34 | 12 | 46 | 第11地区(長和) | 9   | 5  | 14  |
| 第5地区(竹原)  | 23 | 9  | 32 | 第12地区(有珠) | 17  | 11 | 28  |
| 第6地区(市街)  | 19 | 3  | 22 | 第13地区(大滝) | 11  | 3  | 14  |
| 第7地区(末永)  | 22 | 7  | 29 | 合計        | 227 | 98 | 325 |

公益社団法人 **伊達市シルバー人材センター**

伊達市山下町146-8 TEL 23-6448・FAX 25-6960

大滝地区連絡所

伊達市大滝区本郷町84-1(大滝基幹集落センター)TEL 68-6771・FAX68-6761



## 第12回伊達シルバー「ふれあい祭り」を終えて

### 総務部会

台風、雨の予報に今年も一喜一憂しながら無事の開催を祈った数日。設営等準備の前日から好天に恵まれ、9月2日ふれあい祭りが開催されました。

各コーナーも大盛況！吉田敏雄会員の生演奏は終日、祭りの雰囲気盛り上げ、三々五々で始まった踊りも輪になり、のど自慢の会員がステージに上がる等楽しい一日でした。今年も伊達信用金庫様職員のお手伝いに若さとパワーを頂きました。ありがとうございました。

日頃お世話になってます賛助会員、評議員、お客様とも多くのふれあいが出来ました。お客様同士飲食しながらの談笑、会員同士協力しながら作り上げていく姿がみえるのも嬉しいものでした。

沢山の方々の応援を頂き感謝し、会員一同益々元気に楽しく伊達シルバーセンターの明日を開いていきたいですね。



### 第13地区 石神春夫

縁日の担当になって早や5年あまりになりました。13地区は伊達市内から少し離れているので、大したお手伝いも出来ないのです。スタッフ6～7人で朝から綿あめ、ヨーヨー、ポップコーン作り。子供達、昔の子供達も片手に綿あめ、ポップコーンと皆さん楽しく過ごせる気持ちで頑張っています。

皆さんが大きな綿あめ、香ばしいポップコーンを食べている姿を見るとホッとした気持ちです。慣れない接客で苦勞が笑顔に変わります。皆さんとのふれあい、団結力に感謝します。



### 第11地区 武内勢子

ふれあい祭り物資調達係として買物でスーパーに立ち寄った時、長い間祭りで焼き鳥のリーダーで活躍して下さった大先輩中井清子さんに会いました。

ご病気と聞いていましたので、自宅に戻って買物しているお元気な姿にびっくり！若々しい服装と柔和なお顔で「声をかけてくれてありがとう。嬉しかったヨ」と何度も言って下さいました。リハビリはととても大変で苦しかった……。いつもお祭りで活躍していた時のパワーでのり越えているのだな～と思いました。

中井さんは「シルバーで入院付添い等の仕事をしてきて本当に良かった。逆の立場になっても役に立っている」と言っていました。「お祭りがありますヨ」と伝えて別れました。

当日は数名で来てくれたそうですが、気がつかずお会い出来なかったのはとても残念でした(嬉しいですね！)。

これからもふれあい祭りで会員さん達との楽しい思い出が出来るようお手伝いをさせて頂きたいと思います。

# “ふれあい祭り” 写真集

## 《飲食コーナー》



開会挨拶をする  
新理事長



カレーライス



生ビール・ジュース



今年も好評のアロニアシロップかき氷



コーヒー





独自事業 (腐葉土、アロニア)



包丁研ぎ



フリーマーケット



消費者協会出展

### 《縁日広場》



ヨーヨー



ポップコーン



何がつれるかな~?

糸ひき



綿あめ

# 《コンサートステージ》



美声にさそわれ踊り出す



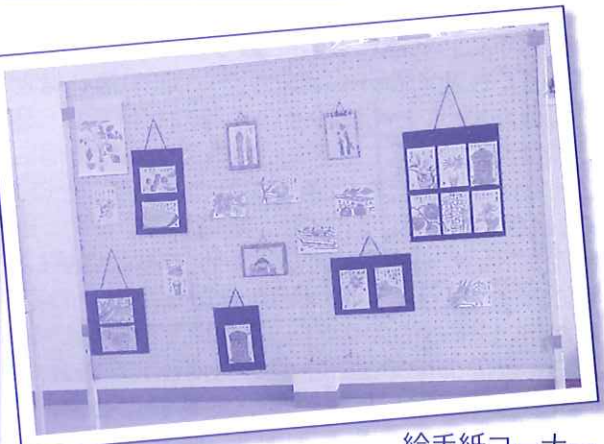
伊達音頭



休憩所



親子で楽しみました



絵手紙コーナー

## 新役員及び新任理事の紹介

理事長 羽根 秀 樹

平成20年に本州（千葉）から伊達に参りました。そして直ぐにシルバー人材センターにお世話になり、9年が経過致しました。その間、事務局は勿論多くの会員の皆様に支えられ色々教えて頂き感謝しております。まだまだ勉強中の私ですが、今年の総会ではからずも理事長の重責を担うことになり、その責任の重さに身も心も引き締まる思いです。

私たちシルバーを取り巻く環境は厳しい状況にあります。役員会、会員皆様のご指導ご協力をいただきながらこの厳しい状況に対処して参りたいと存じます。

シルバー事業の目的は高齢者が健康で生きがいを持って働き、地域社会に貢献し、市民の皆様にも喜ばれ信頼されることです。そのためには会員増強を図るとともに「自主・自立の精神の下多くの会員がシルバーの諸行事に率先して参画し、活気溢れるシルバーにしていかなければなりませんので会員皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

終わりになりますが、会員皆様のご健康と益々のご活躍をご祈念申し上げますとともに安全第一で就業され、お互いに助け合い明るい活力あるシルバーにして参りたいと存じますので宜しくお願い申し上げます。

副理事長 菅 原 博

この地を“終の棲家”と定め、平成13年11月30日朝寝台列車から降り立ちました。東北の田舎育ちが何故？縁とは不思議なものです。移住当時の淋しかった心境が思い出されます。そしてまたまた縁があり、シルバー人材センター入会、手術したばかりで体調が悪かったのですが、事務局職員として採用され皆様に助けられて今日を迎えることができました。ただただ感謝のみです。

さて、シルバー人材センターを取り巻く環境は依然として厳しく、会員減少傾向にも歯止めがかりません。また、昨年はいろいろあり大変な時でした。今、やる事が山積しておりますがこういう時こそ原点に立ち戻りゆっくり焦らず考え行動することが大事です。シルバーの基本理念である「自主・自立・共働・共助」の持つ意義を皆さんと共に考え、「活力ある、魅力あるセンター」にして行きたいと思っています。ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

昨年は、自分にとって大変厳しい年でした。体調が優れずどうすることも出来なかった時、助けて頂きました。人の情け、回りまわって自分に戻るのだなと実感した次第です。「共働・共助」の気持ちを持ってもう一度自分の周りを見つめ直し感謝の念をもって行動して行きたいと考えております。

副理事長 田 中 伸 幸

朝夕に秋の気配が感じられます。先日までTVから世界陸上の映像が流れ、猛暑が続く、猛烈な降雨・洪水と天候不順、そして農作物への影響やテロ・戦争の危機等と平和を脅かす報道も続いています。

先日手にした本に長期に渡り栄えた国が高い生活水準を保ち続けた国と反対に一時的に繁栄していても衰えていった国があり、この違いはどこに原因があるのか？一国の歴史も個人の歴史にも似かよって上手くい時期だけでなく困難に遭遇する時期もあるがこれらの事柄の中にその鍵が隠されて、上手いかなくなった時期に現れると指摘しています。その鍵は特別作り出すことではなく私たちの身近に見つけ出すことにあり、それは持っている力や人材を活用することで、上手いっていた時期に蓄積していた力、その時期に育った人材を停滞期の今こそ徹底的に活用していく心意気にポイントがあると主張しています。翻って見ますと150年前の明治維新・太平洋戦争・東日本大震災等を体験した方々の姿や声を目や耳にした世代と共に生活して来たのですから、世界中の人々から、この点では間違いなく人間力を認められている「ニッポン」です。これからも世界の中でこの才能を発揮させる機会が求められて行くことでしょう。

又今まで体験した事の無い超高齢化社会の中での生き方を私たちのシルバー世代で一層磨き上げて行く事は世界一長寿国の使命ではありませんか。

## 常務理事 石澤 高 幸

本年の定時総会で常務理事に拝命されました石澤と申します。

これからの時代、ますます少子高齢化が顕著となる中において、シルバー人材センターの果たす役割は、さらに重要となり社会の期待も大きくなることが予想されます。

シルバー人材センターの理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、時代の変化に対応した優れた地域資源である人材を活かした事業発展を図っていき、会員の皆様の生きがいづくりの一助となるよう頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。

## 理 事 今 野 忠 夫

この度、伊達シルバー人材センターより理事の役を頂いた今野忠夫です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は平成20年5月中旬頃伊達シルバー人材センターに入会させていただきました。年月の経つのは早いものであれから9年以上が過ぎました。就業はいろいろな仕事がありましたが、自分は草刈り作業が初めてでしたが、興味を持ち、初めは面白く楽しさを持ちながら作業をしました。仕事が慣れると共に分かってきたことがありました。作業用語に3Kの「危険・きつい・汚い」との用語があります。仕事がきつい・汚いはどの作業にも付き物ですが、「危険」の多い仕事で気持ちをゆるめる事ができないと思いました。安全対策は勿論の事ですが草刈り場所の状況にも異なりますが刈り払い機の使い方又技術が大事になる事もあります。どんな小さな草刈り場所であっても油断は禁物です。

私は草刈りが好きです。乱れた所が草を刈り取ることですっきりするからです。今まで「自主・自立」で仕事をさせて頂きました。これからは理事として何が出来るのか分かりませんが「共働・共助」に力を入れて行きたいと思う所です。今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 理 事 日 沖 重 徳

平成20年10月シルバーに入会して以来、諸先輩に支えられ、良き仲間にも恵まれて安穩としていました。しかし、昨年は思わぬ訃報が相次ぎショックの連続でした。

この度、理事としての話があった時、心よくお受けし少しでもシルバーの力になろうと思いました。私は、シルバー会員は過去の経歴や役職にとらわれることなく、お互いに対等の立場で「自主・自立、共働・共助」の基本理念を忘れないで行動すれば、大概のことは解決できると信じています。今までどおり、都合つく限りシルバー行事、親睦会行事に参加して会員同士の交流を大事にしていく中で各種意見の集約をして理事会に臨みたいと考えています。

## 理 事 尾 上 公 敏

66歳を迎えてシルバー人材センター事務局に採用され、4年間業務を担当しました。定年で次は会員として活動していた1年後の理事就任となってしまう正直なところ今現在も戸惑っています。

「少子高齢化社会に入り、様々な課題に直面している現代」シルバー人材センターを支える理事としてのあり様に大きな責任を感じます。観世流26世家元清和氏の言葉を借りれば「守るものは守り、進化させるものは進化させ、どう発展させるか」時代の流れを取り入れて主体的にどこまでやるか、私の課題でもあります。

理事 松田 孝也

早いもので、本年の総会で理事に就任させて頂いてから約半年が過ぎました。

その間、最初の理事会で工藤事務局長から定款等規定類を渡され、シルバー人材センターとは、どんな事業体なのかについて少しでも理解するため、一通り読んでみたが加齢に加え読解力の低下もあり、とても辛いことでした。

先日、シルバー人材センターの独自事業である腐葉土造りやアロニア造りの現場を見せて頂き、多くの皆様が積極的に活動していることに驚きました。

今後はシルバー人材センター事業の推進に少しでもお手伝い出来れば幸いです。

※前号(総会号)で紹介すべきところでありましたが、紙面の関係上今回掲載させていただきました。



会員の広場

ご縁

第4地区  
工藤正子

前の道の駅が「ふれあいギャラリー」

になっていた時です。帽子作りのポスターが貼ってありました。

帽子作り講習会に参加して入会を勧められて、シルバー人材センターの内容も良く解らないまま入会しました。

手芸サークルの会員になり、ミシンの使い方も解らなかった私に「手を取り足を取り」の感じで丁寧に教えてくれました。最近編物も出来るようになり本当に感謝です。

65歳の時に清掃の話がありました。仕事が出来ると不安でしたが、リーダーと仲間の皆様に助けられながら5年目になりました。最近「顔色も良くて元気そうだね」と声をかけられます。清掃の仕事をしているおかげで体力がついたのです。

帽子作り講習会のポスターと出会いがあってシルバー人材センターに入会でき、大勢の先輩と仲間の皆様に親切にさせていただいて、元氣になれた今の私があります。皆様に感謝です。

第29回会員趣味の作品展  
開催のご案内

- 期 日 平成29年10月8日(日)～10月9日(月)
  - 時 間 10:00～17:00
  - 場 所 伊達市カルチャーセンター ホワイエ
- 今年も多くの会員から出品される予定です。皆様のお越しをお待ちしています。

編集後記

早いもので10月、この春には伊達シルバー人材センターにとって大きな出来事で新体制のスタートがありました。

新理事長、副理事長の下4名の理事が加わり、新しい体制へ大きな期待が込められています。「新しい皮袋には新しい酒を盛れ」と言うことわざがありますが、新しいワインを古い袋に盛ることはやがて皮袋がはちきれてしまうことの例えでもあります。

新しい顔ぶれの就任ご挨拶の中でも「様々な山積課題を抱える困難な時こそこれまでの培ったノウハウや人材を活用して乗り切る方法が身近なところにもあること」と触れられていました。昭和から平成へ、世界的・国内的に変動した社会情勢は人口減少による急転回により様々な課題を残している現代です。

昭和の制度と価値観で生まれたシルバー人材センターの基本理念「自主・自立、共働・共助」は変わるものではありませんが、これからは時代の流れを取り入れ、ことわざを念頭に「ふれあい発行」に奮起したいと思います。(尾)

鎌田、武内、尾上、松田、佐藤

発行 伊達市シルバー人材センター

編集 総務部会(広報)

連絡先 ☎0142-23-6448

E-mail:datesc@dream.ocn.ne.jp